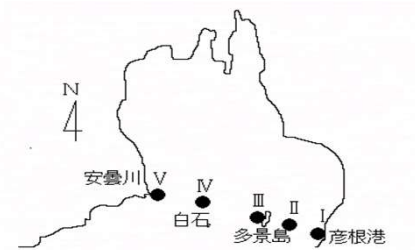


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和8年4月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご注意ください。

調査年月日 令和8年4月13日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場地先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 …… 5地点の平均値

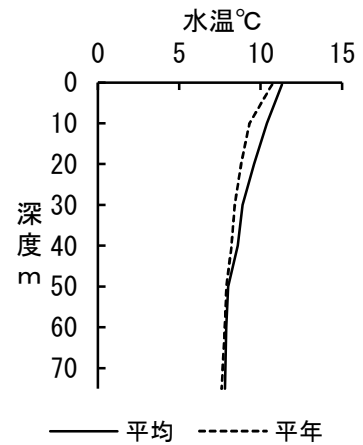
平年値 …… 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2016年～2025年(平成28年～令和7年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 4月平均値 5.6m 平年値 5.7m

2. 湖水温 (°C)

深度 (m)	4月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	11.3	10.7	+0.6
10	10.4	9.3	+1.1
20	9.6	8.8	+0.8
30	8.9	8.4	+0.5
40	8.6	8.2	+0.4
50	8.0	7.9	+0.1
60	7.9	7.8	+0.1
75	7.8	7.6	+0.2



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
3月下旬	10.6	9.2	+1.4
4月上旬	11.3	10.2	+1.1
4月中旬	13.3	11.4	+1.9

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	4月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	18.7	13.8	+4.9
10~20	3.5	4.7	-1.2
20~40	1.5	1.7	-0.2
40~75	0.5	0.7	-0.2

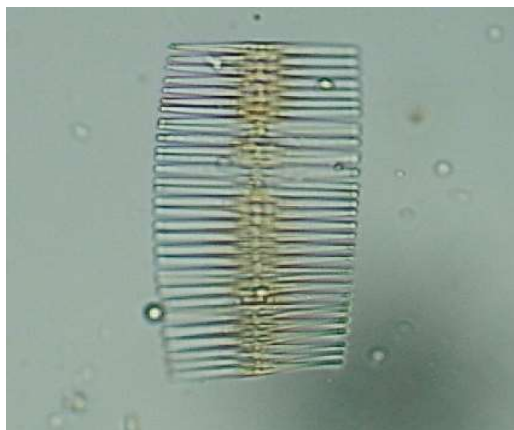
(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点)

植物プランクトンについては、両地点とも*Fragilaria crotonensis*(オビケイソウ:珪藻)の細胞数が最も多かった。

動物プランクトンについては、全地点でカイアシ類のノープリウス期幼生の個体数が最も多かった。



Fragilaria crotonensis



ノープリウス期幼生

6. DO (溶存酸素濃度 : mg/L) 多項目水質計による測定値。

深度 (m)	4月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	12.0	109.4	11.8	107.7	0.2	(+1.7)
10	12.0	106.8	11.7	103.9	0.3	(+2.9)
20	11.7	102.3	11.5	100.2	0.2	(+2.1)
30	11.3	97.4	11.3	98.1	0.0	(-0.7)
75	10.5	88.3	9.8	82.8	0.7	(+5.5)